

# ご近所の お医者さん

□

483

□

四ツ橋診療所副院長 **安井博規さん** 一大阪市西区

## かけはしカフェ開催中

核家族化が進み、子育て世代が親と同居することが少なくなりました。その結果、高齢者が夫婦だけで、あるいは一人で暮らす世帯が増えてきています。子育て世代もまた、夫婦共働きが当たり前になり、親との交流が減ってきています。

「老老介護」という

言葉があるように、高齢者が取り残され、地域との交流もなく引きこもってしまうケースが少なくありません。独



## 地域の居場所づくり

居高齢者の孤独死も後を絶ちません。一方で、子育て中の若い親たちは気軽に相談できる親が近くにおらず、困っている場合があります。そこで、あらゆる世代が孤立しないように、また地域の中でつながってい

けるように、地域住民が集まれる「居場所」が重要です。当院は大阪市内のいわゆるオフィス街の近くにある内科系の診療所ですが、診療所の一部を毎月1回開放して、地域住民が集まって楽しく過ごす「かけはしカフェ」を開催しています。

カフェには高齢者だけでなく、子どもや子育て中の親、認知症の人、障害

を持った方など、どんな人でも気軽に立ち寄れます。おしゃべりやダンス、ゲームを楽しんで帰るのも良いですし、もちろん、医療・介護や子育てに関する情報を手に入れたり、スタッフと意見交換したりもできます。当院のスタッフと地域の医療介護に関わる人たちが一緒になって、安心して住める街づくりの一環として、地域住民と共に、この「かけはしカフェ」を育てていきたいと思っています。

人間の寿命に影響を与えるのは、薬物治療や禁煙などの生活習慣の改善だけでなく、「社会とのつながり」も関係しているのではないかと報告もあります。「かけはしカフェ」のような居場所の提供は、全国各地で取り組まれていると思います。近い将来、行政を中心にこうした取り組みがさらに広がり、社会の一部として定着することを期待しています。